

平成23年度 日本デザイン学会秋季企画大会 「デザインに何ができるか 1995.1.17～2011.3.11～」

■ 大会趣旨:

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、1995年の阪神淡路大震災では体験しなかった、津波、放射能などの新たな問題によって、科学技術やデザインの各領域に、人々の生活や社会における安全・安心、信頼を取り戻すためのパラダイムシフトの必要性を突きつけています。平成23年度日本デザイン学会秋季企画大会では、第58回春季研究発表大会におけるオーガナイズドセッション「デザインから考えるー東日本大震災の現状と課題」などの活動の流れを受け、デザインの各領域が過去の震災から何を学んだか、今回の震災に対して何をなすべきか、何ができるのか、これからを見据えて取り組むべき課題は何かを、基調講演、震災プロポジション、学生プロポジション、パネルディスカッションなどを通じて議論していくことを目的としています。多数のご参加をお待ちしております。

■ 日時: 2011年11月12日(土) 10:00～17:00

■ 会場: 東京大学工学部2号館2階221講義室、中庭フォーラム
(東京都文京区本郷7-3-1)

■ 参加費: 会員・非会員:1,000円(被災地の会員は無料)、学生:無料

■ 内容(予定):

● 学会各賞授賞式等 10:00～10:30

● 基調講演「震災後の工学は何をめざすのか」10:30～11:10

原田 昇(東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授・研究科長特別補佐)

● 基調講演「震災におけるデザインの役割とユニバーサルなソリューション」11:10～12:15

Patricia Moore (Moore Design Associates 代表, アリゾナ州立大学教授) (逐次通訳)

● 学生プロポジション/震災プロポジション展示 12:15～14:00

● パネルディスカッション「デザインに何ができるか」14:00～17:00

司会: 尾登 誠一(東京藝術大学、日本デザイン学会副会長)

「被災地の現状」

伊藤 真市(宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科)

「震災とユニバーサルデザイン」

中川 聡(東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻 特任教授)

「震災と情報デザイン1」

堀江 政広(東北工業大学 ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科)

「震災と情報デザイン2」

山崎 真湖人(アドビシステムズ株式会社)

「震災と環境・生活デザイン」

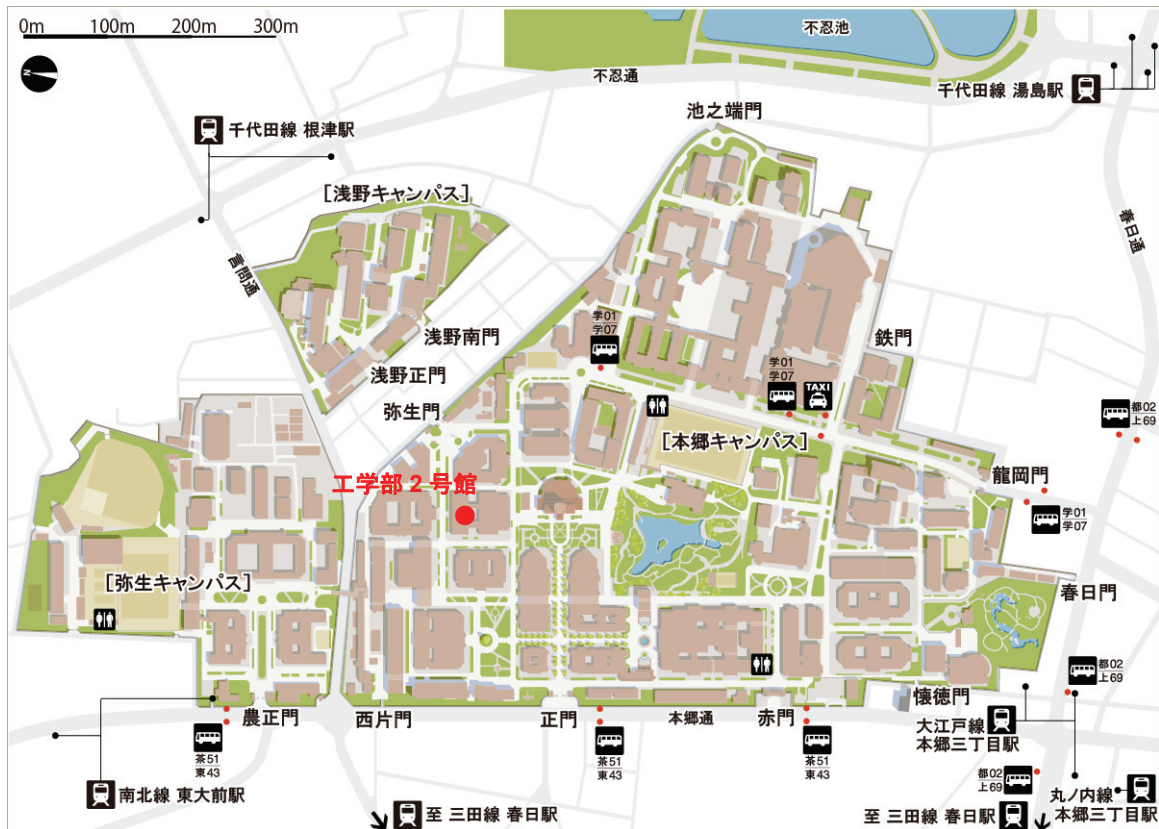
長谷 高史(愛知県立芸術大学 美術学部 教授)

「震災とデザインの新領域」

村上 存(東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻)

- 懇親会カフェサロン(日本デザイン学会第2支部) 17:00~18:00
佐々木美貴(第2支部長), 山中敏正(同副支部長)

■ アクセス:



交通:

地下鉄利用

本郷三丁目駅(丸の内線, 大江戸線)徒歩12分

湯島駅又は根津駅(千代田線)徒歩10分

東大前駅(南北線)徒歩8分

バス利用 - お茶の水駅(JR中央線、総武線)

都バス/茶51駒込駅、王子駅行又は/東43荒川土手行 - 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車

学バス/学07東大構内行 - 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

バス利用 - 上野駅及び御徒町駅

都バス/都02大塚行 - 湯島四丁目下車(御徒町駅のみ)

学バス/学01東大構内行 - 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

■ 企画・問合せ先:

東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻 村上 存

E-mail: jssd@mail.design.t.u-tokyo.ac.jp Tel: 03-5841-6327